



## 2024年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月13日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東  
コード番号 7983 URL <https://www.miroku-jp.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 宮地 雅久 TEL 088-863-3310  
定時株主総会開催予定日 2025年1月28日 配当支払開始予定日 2025年1月29日  
有価証券報告書提出予定日 2025年1月29日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年10月期の連結業績（2023年11月1日～2024年10月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	10,918	△8.2	△519	—	△263	—	△2,294	—
2023年10月期	11,887	3.6	553	△16.1	795	△1.7	481	△6.0

（注）包括利益 2024年10月期 △1,888百万円（－％） 2023年10月期 779百万円（28.5％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年10月期	△777.67	—	△16.0	△1.2	△4.8
2023年10月期	163.14	—	3.2	4.0	4.7

（参考）持分法投資損益 2024年10月期 107百万円 2023年10月期 84百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	22,619	13,320	58.9	4,515.68
2023年10月期	20,904	15,314	73.3	5,190.84

（参考）自己資本 2024年10月期 13,320百万円 2023年10月期 15,314百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年10月期	△41	△3,360	3,309	1,299
2023年10月期	△484	△1,166	1,225	1,389

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年10月期	—	20.00	—	25.00	45.00	135	27.6	0.9
2024年10月期	—	10.00	—	2.00	12.00	36	—	0.2
2025年10月期（予想）	—	5.00	—	5.00	10.00		16.4	

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,260	21.4	100	—	250	—	180	—	61.02

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年10月期	3,005,441株	2023年10月期	3,005,441株
2024年10月期	55,634株	2023年10月期	55,210株
2024年10月期	2,950,079株	2023年10月期	2,950,267株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結損益計算書に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、物価高が継続する状況ではありましたが、雇用や所得環境の改善、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復しております。一方、海外における中東地域の情勢悪化や、原材料価格の高騰、不安定な為替相場等による世界経済の下振れがわが国経済を下押しするリスクは続いております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当社グループは、従来、「猟銃事業」、「工作機械事業」以外のセグメントについては、重要性が乏しいため「その他事業」として記載しておりましたが、第2四半期連結会計期間から、「その他事業」に含まれていた「IT/IoT/AI事業」につきまして量的な重要性が増したため、これまでの「その他事業」から、「IT/IoT/AI事業」と「その他事業」に区分し、セグメント情報を記載することとしました。

#### （猟銃事業）

当社製品のOEM供給先であるブローニンググループからの受注は堅調に推移しましたが、第2四半期会計期間に発生した製造工程の不具合による生産の一時停止や新製品への移行に伴う想定以上の不要部品の除却、また継続する原材料価格の高騰等により、売上高、利益において下振れ要因として大きく影響しました。その結果、売上高は9,201,479千円（前期比6.3%減）、セグメント損失（営業損失）は444,081千円（前期は593,403千円の利益）となりました。

#### （工作機械事業）

営業活動の強化は図っているものの、依然販売先工場の稼働停滞等により、売上高は全部門で前期を下回りました。利益につきましても、売上高減少のなか、加工部門が一定の利益を確保しましたが、他の部門が振るわず、前期に比べて減少しました。その結果、売上高は1,684,817千円（前期比19.0%減）、セグメント利益（営業利益）は155,079千円（同比30.5%減）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高18,922千円を含んでおります。

#### （IT/IoT/AI事業）

設備保全業務効率化のためのクラウドシステム等の販売において顧客獲得は進んでおり、売上高は前期に比べて増加となりましたが、利益につきましては引き続き損失を計上いたしました。その結果、売上高は5,074千円（前期比34.5%増）、セグメント損失（営業損失）は43,319千円（前期は34,196千円の損失）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高1,971千円を含んでおります。

#### （その他事業）

その他事業の売上高は47,918千円（前期比9.3%増）、セグメント利益（営業利益）は28,708千円（同比11.2%増）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は10,918,396千円（前期比8.2%減）、営業損失は519,127千円（前期は553,825千円の利益）、経常損失は263,073千円（前期は795,415千円の利益）、親会社株主に帰属する当期純損失は2,294,180千円（前期は481,294千円の利益）となりました。親会社株主に帰属する当期純損失については、猟銃事業における事業会社の減損損失1,669,745千円の計上及び繰延税金資産の取崩し239,043千円があったことによります。

### （2）当期の財政状態の概況

#### （資産）

資産合計は前連結会計年度末に比べて1,715,251千円増加し、22,619,854千円となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金が573,662千円、機械装置及び運搬具が1,133,679千円、繰延税金資産が247,961千円減少したものの、棚卸資産が797,981千円、建設仮勘定が2,263,876千円、投資有価証券が663,004千円増加したこと等によるものであります。

#### （負債）

負債合計は前連結会計年度末に比べて3,709,028千円増加し、9,299,465千円となりました。

主な要因は、賞与引当金が92,091千円減少したものの、短期借入金600,000千円、長期借入金2,730,000千円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、流動比率は前連結会計年度末と比較し、66.7ポイント減少の276.1%となりました。

## （純資産）

純資産合計は前連結会計年度末に比べて1,993,777千円減少し、13,320,388千円となりました。

主な要因は、その他有価証券評価差額金が402,697千円増加したものの、利益剰余金が2,399,236千円減少したこと等によるものであります。

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の73.3%から58.9%となりました。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて89,914千円減少し、1,299,638千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は41,983千円（前連結会計年度は484,975千円の支出）となりました。

収入の主な内訳は、減損損失1,669,745千円、減価償却費942,969千円、売上債権の減少額573,662千円等であり、支出の主な内訳は税金等調整前当期純損失1,940,247千円、棚卸資産の増加額797,981千円、法人税等の支払額200,497千円等であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は3,360,520千円（前連結会計年度は1,166,905千円の支出）となりました。

これは、主に利息及び配当金の受取額79,686千円、有形固定資産の取得による支出3,406,121千円、無形固定資産の取得による支出57,298千円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は3,309,243千円（前連結会計年度は1,225,526千円の収入）となりました。

これは、主に長期借入れによる収入3,130,000千円、短期借入れによる収入600,000千円、長期借入れの返済による支出300,000千円、配当金の支払額105,056千円等によるものであります。

## （4）今後の見通し

猟銃事業につきましては、今後のトランプ政権による米国経済への期待感と同時に先行き不透明感があり、併せて個人消費の停滞感から、ブローニンググループからの受注は前年度比横ばいで推移していくものと予想されます。一方で、中東地域の情勢悪化等の影響による世界経済の先行き減速や、円安の進行による海外部品の高騰等が懸念され、市場環境には十分留意してまいります。当社としましては、2024年10月期での創業以来初となる主力製品が生産一時停止となった教訓を活かし、品質管理体制の確立という、ものづくりの原点に立ち返り、あらゆる観点から生産の問題点を洗い出し、ひとつひとつ解決していくことでOEM供給先であるブローニンググループと軌を一にして協調体制を強化していく所存です。

工作機械事業につきましては、加工部門を当事業の成長の核におき、その営業活動を展開しつつ、機械部門及びツール部門への波及を図ってまいります。全体では2024年10月期をやや下回る利益水準で推移する見通しですが、国内の設備投資は持ち直しの動きも見られており、新たな分野における需要開拓も含めて事業の強化を図ってまいります。

IT/IoT/AI事業につきましては、設備保全業務効率化のためのクラウドシステム等の販売において新規獲得数を増加することを第一に鋭意営業活動に励んでまいります。

その他事業につきましては、主力である自動車関連事業は自動車業界におけるカーボンニュートラルや電気自動車へのシフト等大きな変革期のなかで、主力となる部分加飾ステアリングハンドルの受注獲得に注力するとともに、これまで培った技術により、「BAMBOO+®」をはじめとする新素材の開発等に注力し、更なる業績向上に努めてまいります。

以上の結果、次期の通期連結業績につきましては、売上高13,260百万円（前期比21.4%増）、営業利益100百万円（前期は519百万円の損失）、経常利益250百万円（前期は263百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純利益180百万円（前期は2,294百万円の損失）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,389,553	1,299,638
受取手形及び売掛金	2,707,839	2,134,176
棚卸資産	5,684,422	6,482,404
その他	359,637	574,303
貸倒引当金	△45	△39
流動資産合計	10,141,407	10,490,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,398,043	1,241,773
機械装置及び運搬具（純額）	2,137,422	1,003,742
土地	2,543,918	2,538,302
建設仮勘定	240,486	2,504,363
その他（純額）	141,338	122,117
有形固定資産合計	6,461,210	7,410,300
無形固定資産	80,892	94,909
投資その他の資産		
投資有価証券	3,645,752	4,308,756
繰延税金資産	424,653	176,691
その他	163,678	151,692
貸倒引当金	△12,991	△12,980
投資その他の資産合計	4,221,093	4,624,160
固定資産合計	10,763,195	12,129,370
資産合計	20,904,602	22,619,854

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,005,700	1,175,421
短期借入金	500,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	400,000
未払法人税等	76,640	43,946
賞与引当金	305,522	213,431
役員賞与引当金	28,786	6,506
その他	741,265	860,001
流動負債合計	2,957,914	3,799,307
固定負債		
長期借入金	1,250,000	3,980,000
繰延税金負債	478,637	655,471
役員退職慰労引当金	207,160	194,594
退職給付に係る負債	696,725	670,092
固定負債合計	2,632,523	5,500,158
負債合計	5,590,437	9,299,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	12,833,512	10,434,275
自己株式	△31,405	△31,996
株主資本合計	14,219,012	11,819,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,051,552	1,454,249
為替換算調整勘定	43,600	46,953
その他の包括利益累計額合計	1,095,152	1,501,202
純資産合計	15,314,165	13,320,388
負債純資産合計	20,904,602	22,619,854

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
売上高	11,887,497	10,918,396
売上原価	10,019,381	10,150,440
売上総利益	1,868,116	767,956
販売費及び一般管理費	1,314,290	1,287,083
営業利益又は営業損失(△)	553,825	△519,127
営業外収益		
受取配当金	46,340	52,387
持分法による投資利益	84,975	107,632
助成金収入	15,341	3,636
スクラップ売却益	54,140	50,749
その他	49,115	57,603
営業外収益合計	249,913	272,009
営業外費用		
支払利息	2,197	12,609
シンジケートローン手数料	2,941	1,997
その他	3,184	1,347
営業外費用合計	8,323	15,955
経常利益又は経常損失(△)	795,415	△263,073
特別損失		
固定資産除売却損	—	7,427
減損損失	—	※1 1,669,745
特別損失合計	—	1,677,173
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	795,415	△1,940,247
法人税、住民税及び事業税	259,556	104,096
法人税等調整額	54,563	249,836
法人税等合計	314,120	353,932
当期純利益又は当期純損失(△)	481,294	△2,294,180
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	481,294	△2,294,180

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
当期純利益又は当期純損失（△）	481,294	△2,294,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	314,118	399,002
為替換算調整勘定	1,007	3,352
持分法適用会社に対する持分相当額	△16,937	3,695
その他の包括利益合計	298,187	406,050
包括利益	779,482	△1,888,129
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	779,482	△1,888,129

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年11月1日 至 2023年10月31日）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	863,126	553,778	12,472,286	△31,276	13,857,915	725,028	71,936	796,964	14,654,880
当期変動額									
剰余金の配当			△120,068		△120,068				△120,068
親会社株主に帰属 する当期純利益又は 親会社株主に帰属 する当期純損失 (△)			481,294		481,294				481,294
自己株式の取得				△129	△129				△129
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)						326,523	△28,335	298,187	298,187
当期変動額合計	—	—	361,226	△129	361,097	326,523	△28,335	298,187	659,284
当期末残高	863,126	553,778	12,833,512	△31,405	14,219,012	1,051,552	43,600	1,095,152	15,314,165

当連結会計年度（自 2023年11月1日 至 2024年10月31日）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	863,126	553,778	12,833,512	△31,405	14,219,012	1,051,552	43,600	1,095,152	15,314,165
当期変動額									
剰余金の配当			△105,056		△105,056				△105,056
親会社株主に帰属 する当期純利益又は 親会社株主に帰属 する当期純損失 (△)			△2,294,180		△2,294,180				△2,294,180
自己株式の取得				△590	△590				△590
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)						402,697	3,352	406,050	406,050
当期変動額合計	—	—	△2,399,236	△590	△2,399,827	402,697	3,352	406,050	△1,993,777
当期末残高	863,126	553,778	10,434,275	△31,996	11,819,185	1,454,249	46,953	1,501,202	13,320,388

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失 (△)	795,415	△1,940,247
減価償却費	767,827	942,969
減損損失	—	1,669,745
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△17
受取利息及び受取配当金	△46,342	△52,401
持分法による投資損益 (△は益)	△84,975	△107,632
助成金収入	△15,341	△3,636
支払利息	2,197	12,609
シンジケートローン手数料	2,941	1,997
固定資産除売却損益 (△は益)	—	6,443
売上債権の増減額 (△は増加)	△845,648	573,662
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△598,465	△797,981
仕入債務の増減額 (△は減少)	△195,518	169,721
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,290	△92,091
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,081	△22,280
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	48,270	△26,632
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,263	△12,565
その他	90,138	△197,362
小計	△67,033	124,302
助成金の受取額	15,341	3,636
法人税等の支払額	△452,107	△200,497
法人税等の還付額	18,823	30,575
営業活動によるキャッシュ・フロー	△484,975	△41,983
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,097,014	△3,406,121
無形固定資産の取得による支出	△24,887	△57,298
利息及び配当金の受取額	47,492	79,686
保険積立金の解約による収入	12,003	19,000
保険積立金の払戻による収入	—	13,029
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△5,000
その他	△4,498	△3,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,166,905	△3,360,520
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	600,000
長期借入れによる収入	850,000	3,130,000
長期借入金の返済による支出	—	△300,000
配当金の支払額	△120,068	△105,056
利息の支払額	△2,197	△12,609
シンジケートローン手数料の支払額	△2,078	△2,499
その他	△129	△590
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,225,526	3,309,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,004	3,346
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△425,351	△89,914
現金及び現金同等物の期首残高	1,814,904	1,389,553
現金及び現金同等物の期末残高	1,389,553	1,299,638

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書に関する注記)

## ※1 減損損失

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額
高知県南国市	事業用資産	建物及び機械装置等	739,354千円
高知県香美市	事業用資産	建物及び機械装置等	366,341 〃
高知県高岡郡	事業用資産	建物及び機械装置等	564,050 〃

当社グループは、原則として、事業用資産については事業セグメントを基準としてグルーピングを行っており、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当連結会計年度において、収益性の低下した猟銃事業に含まれる株式会社南国ミロクについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（1,669,745千円）として特別損失に計上いたしました。

なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、事業の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は純粋持株会社として、グループ戦略の方針並びに事業会社の統括管理を行っており、事業活動は、当社傘下の子会社及び関連会社が展開しております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社グループは、国内・海外において猟銃、工作機械の事業活動を展開しており、「猟銃事業」、「工作機械事業」及び「IT/IoT/AI事業」の3つを報告セグメントとしております。

「猟銃事業」は、散弾銃、ライフル銃、猟銃関連商品を生産及び販売しております。「工作機械事業」は、深穴加工機、超精密研磨機、深穴加工用工具を生産及び販売すると共に、穴明加工業務を行っております。「IT/IoT/AI事業」は、IT/IoT/AI関連製品の開発及び販売をしております。

## (3) 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

第2四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「IT/IoT/AI事業」につきましては、量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、当連結会計年度の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年11月1日 至 2023年10月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	IT/IoT/AI 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,823,838	2,019,817	—	11,843,655	43,841	11,887,497	—	11,887,497
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	60,269	3,773	64,043	—	64,043	△64,043	—
計	9,823,838	2,080,086	3,773	11,907,698	43,841	11,951,540	△64,043	11,887,497
セグメント利益 又は損失(△)	593,403	223,183	△34,196	782,391	25,812	808,203	△254,377	553,825
セグメント資産	13,227,728	3,571,057	7,329	16,806,115	1,840,714	18,646,829	2,257,773	20,904,602
その他の項目								
減価償却費	651,069	119,315	—	770,384	4,279	774,664	△6,836	767,827
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	875,356	64,337	—	939,694	262	939,956	△1,995	937,961

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、木材関連事業等を含んでおります。
2. 調整額は、以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△254,377千円には、セグメント間取引消去6,670千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△261,048千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額2,257,773千円には、セグメント間取引消去△25,548千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産2,283,322千円が含まれております。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△1,995千円は、未実現利益に係るものであります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は損失(△)と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年11月1日 至 2024年10月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械事業	IT/IoT/AI事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,201,479	1,665,895	3,103	10,870,477	47,918	10,918,396	—	10,918,396
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	18,922	1,971	20,893	—	20,893	△20,893	—
計	9,201,479	1,684,817	5,074	10,891,371	47,918	10,939,289	△20,893	10,918,396
セグメント利益 又は損失(△)	△444,081	155,079	△43,319	△332,321	28,708	△303,613	△215,514	△519,127
セグメント資産	14,033,880	3,552,368	5,330	17,591,579	2,120,982	19,712,561	2,907,292	22,619,854
その他の項目								
減価償却費	837,666	106,661	—	944,328	4,201	948,529	△5,560	942,969
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,388,890	192,000	—	3,580,890	2,289	3,583,179	—	3,583,179

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、木材関連事業等を含んでおります。
2. 調整額は、以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△215,514千円には、セグメント間取引消去9,424千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△224,938千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額2,907,292千円には、セグメント間取引消去△15,496千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産2,922,788千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は損失(△)と調整を行っております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年11月1日 至 2023年10月31日）  
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年11月1日 至 2024年10月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	調整額	連結財務諸表計上額
	猟銃事業	工作機械事業	IT/IoT/AI事業	計			
減損損失	1,669,745	—	—	1,669,745	—	—	1,669,745

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
1株当たり純資産額	5,190円84銭	4,515円68銭
1株当たり当期純利益 又は1株当たり当期純損失	163円14銭	△777円67銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失（千円）	481,294	△2,294,180
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失（千円）	481,294	△2,294,180
普通株式の期中平均株式数（千株）	2,950	2,950

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。